

迷ったり悩んだ時は、 まず「自分を信じてみること」が大事

中山由紀 熊本大学大学院自然科学研究科准教授

生物系 (生命科学)

遊びの中で芽生えた、 生物の不思議への興味

子どもの頃から自然の中で遊ぶことが好きでした。虫かごいっぱい、蝉を捕まえたり、カエルの卵を育ててみたり(笑)。そんな遊びの中で「生き物の不思議さ」に興味を持つようになりました。修士課程に進んだ際も、とにかく実験が楽しくてしかたがなかった。研究者の道へは、自然と進んでいったという感じです。

大学院生時代は、実験に夢中になり過ぎて、気がつけば深夜……ということが度々。帰宅したのに、寝不足のあまりに車から降りることができず、そのまま車の中で一晩過ごしてしまった(寝てしまった)こともあります。ワクワクと刺激に満ちた学生時代でした。

進路については、すべて自分自身で決めてきたので、不思議と悩むことはなく、親や友達に相談することもほとんどありませんでした。そのかわり、自分で決めたことには責任を持ち、後悔しないように過ごそうと、思い切り研究に励みました。

私は現在、骨格筋の再生過程のメカニズムの解明を行っています。骨格筋は再生能力に優れているという

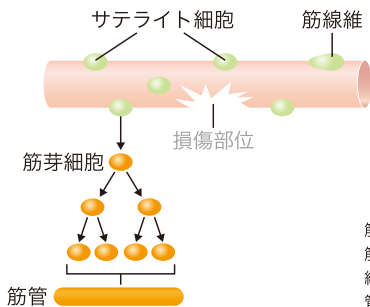
特徴を持っておりませんが、そのメカニズムはいまだ不十分です。筋再生過程にはたくさんのステップがあるのですが、マウスや培養細胞を用いた実験により、ひとつひとつのステップにどのような分子が関与しているのかを明らかにしたいと思っています。

根拠はなくても 自分を信じて進むこと!

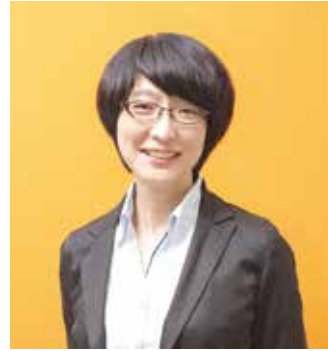
この仕事の魅力は、何と言っても「生命現象の謎」を解明しているところ。**わからないことを明らかにするというチャレンジは、何度経験しても、その度にワクワクします。**また、学生が成長していく姿をみることに意義を感じています。

公私のバランスについては、今のところ自由度が高く、どちらにもストレスなく時間を持つことができます。結婚をしていますが子どもがいないので、それほど家族に縛られることなく、好きなように仕事できています。

もし進路で悩んだら、とりあえず何の根拠がなくとも「自分を信じて進む」ことをお勧めします。困った時は遠慮なく先生を頼ってくださいね!



筋再生の模式図
筋線維が損傷を受けると、その周辺のサテライト細胞が筋芽細胞へと分化し、増殖する。増殖した筋芽細胞は融合して筋管を形成し、損傷部位を修復する



Yuki NAKAYAMA

理学部 修士課程 博士課程 研究所(研究員) 大学教員

One day

7:00 起床
8:40 就業
研究・学生指導・講義など
19:50 終業→帰宅
24:00 就寝

この研究所で研究者として長く続けたいと思うようになった

◎宝もの
特に家族と健康
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
睡眠と旅行
眠ると悩みが軽くなります

profile

なかやまゆき / 2000年熊本大学大学院自然科学研究科環境科学専攻博士課程修了。2000年より約8年間、財団法人東京都臨床医学総合研究所(現東京都医学総合研究所)で研究員として勤務。女性研究者が多く所属しており、結婚・出産を経ても生き生きと研究をしている様をみて、研究者として長くやっていきたいと強く思う。2008年より熊本大学大学院先導機構生命環境分野特任助教を経て、2012年4月より現職。理学博士。



Q.女性ということで工作上不愉快な思いをしたことがありますか?
ある 32% ない 68%